

子どもの本

研究会

【私の一冊】 『わたしはあかねい』

サトシン・作 西村敏雄・絵 (文溪堂)

塚原まきい



「みんなと違っていて大丈夫かな？」
自分に自信が持てなくて、周りの顔色を伺ってしまう…そんな子供時代でした。自分が正しいことをしていても、周りが違ったことをしていると不安でした。『みんなと同じになるう』という気持ちが大きかったんですね。

今回わたしがおすすめする本は、サトシン・作『わたしはあかねい』。ねこが出てくる絵本です。このお話には、体の色が違うため親や兄弟から心配されるあかねこが登場します。両親は白と黒、兄弟もみんなそれを受け継いでいます。周りは同情し、あれこれと思い悩むのですが、ひとりだけ違っていてもむしろそれを気に入っているあかねこ。「わたしはみんなとちがっているけど、ありのままが好き」とてもストレートで素晴らしいメッセージです。金子みすゞさんの『みんなちがって、みんないい』を思い出しました。ひとりひとりがそれぞれに輝いて、かけがえのない存在。自分らしく生き、ありのままの自分でいいんだよと教えてくれます。ユーモラスな表情のねこたちの挿絵は子供たちをくぎ付けにします。「そのままのじぶんがよかったの」と胸を張り、おうちを出ていくあかねこの勇氣。自分の道を切り開くあかねこはかっこよくもあります。自分で答えを見つけてるって大事なんですね。意外と忘れがちです。あかねこは常にそれをやっています。人生の中でも、進学、就職、結婚など悩むことや選択をせまられることが多くあります。そんなときにこの本を思い出してほしいです。

昨年は感染症の影響で、先が見えない不安も大きく悩むことも多かったです。まだまだその状況が続いていますよね。多くなったおうち時間の中で本棚からまた引っ張り出した絵本。いまの状況を受け入れて、前に進む力、希望をもらえました。

誰かに自分の価値観を押し付けていたりしないかな？大切なことをたくさん教えてくれた一冊です。寒さの厳しい冬になりそうです。とつてもあったかい気持ちになれる絵本を手にとってみてはいかがでしょう？

今年はいいい一年になりますように。



(ラジオパーソナリティ)



2021年1月10日(日) 特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会 発行

<http://www.kodomonohon.org>

E-mail: info@kodomonohon.org